



令和4年度 恩納村博物館講座

「サンゴの産卵観察会」を行いました



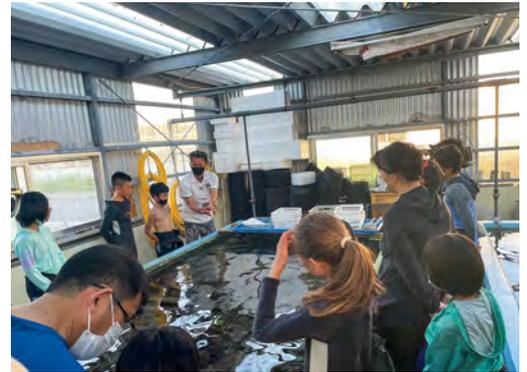
6月22日、「サンゴの産卵観察会」を開催しました。当日は残念ながら産卵を観察することはできませんでしたが、夜の海中の生き物などを観察しました。

「サンゴの村宣言」をした恩納村では、SDGsへ向けた様々な取り組みが行われています。今回の観察会もその一環で、サンゴの産卵を観察することで、年に一度のサンゴの生態系やサンゴ自身を知り、サンゴ保全や環境問題等に対して関心をもってもらう機会になったと思います。また、博物館で開催する初めての試みでしたが、子どもたちへの安全面等も十分に確認・調整を行いながら実施することができました。

今回は村内小学生高学年以上の児童、保護者、学校の先生や一般の方々24名の参加がありました。参加者からは、「産卵は見られなかったけれど、普段入ることがない夜の海を見られて楽しかった」「いい経験ができた」と言っていました。また、夜の海に入ることが初めてという参加者も多く、最初、「少し心配」と不安を口にする方もいましたが、最後には「楽しかった」と喜んでいただくことができました。

今回、ダイビングショップ・ナチュラルブルー及び一般社団法人サンゴ保全協会の山城さんのご協力もあり、教育委員会社会教育課職員、博物館職員も安全かつ楽しく講座を開催できたと思います。

次年度以降も継続的に実施し、地域の海や自然について知り、恩納村の豊かな海を守る活動にしていきたいと思っています。



事前学習の様子



今から観察地へむけて出港



産卵に近いサンゴを探しています



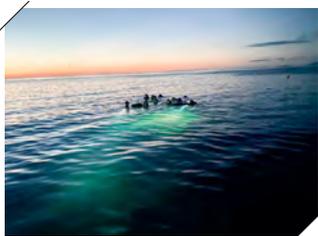
サンゴの様子



サンセットクルーズもできました



ナマコをみつけたよ！



水中ライトの光が神秘的



笑顔の参加者の様子



笑顔の参加者の様子



星空もとっても綺麗でした